

## 甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 令和2年1月27日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（8名）

委員長	五味武彦君	副委員長	伊藤毅君
	秋山照雄君		金丸幸司君
	松井豊君		有泉庸一郎君
	内藤久歳君		藤原正夫君

議長 清水正二君

### 欠席委員（1名）

金丸寛君

### 傍聴議員（1名）

斉藤芳夫君

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	本田泰司	書記	興石文明
書記	長田大地	書記	中込美智子

### 議題

- 1 市民と議会の対話集会について〔役割責任者の準備内容の報告・協議〕
- 2 その他

開会 午後 1時26分

○書記（輿石文明君） 改めまして、こんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、五味委員長、お願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 改めまして、こんにちは。お疲れさまでございます。

何か夕方から雪が降るとのことなので、早目に終わりたいなというふうに思っております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

1つだけ、議会改革に関する事なので、報告だけさせていただきたいと思ひますが、議会だよりのリニューアルについては前回12月に全協含めて皆さんご了解いただきました。その線に沿って今月に入ってもう3回かな、やっております。あらかた表紙をどうするか、1、2ページの企画ものはどうするか、それから16ページのフルカラーの面割りをどうするかというところまで今進んでおります。いずれ2月末もしくは3月に入ってからかもしれませんけれども、相対的なレイアウト実際出てきたものが検討しているものが図面化されるということなので、その際にはまたご報告、ご了解いただきたいというふうな形をやっておりますので、ご報告だけさせていただきます。

以上でございます。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、清水議長、お願いいたします。

○議長（清水正二君） 改めまして、こんにちは。ご参集ご苦勞さまでございます。

議会改革特別委員会の市民と議会との対話集会に向けていよいよ大詰めのということで、きょうは準備内容等いろいろと本当に詰めの段階に来ておりますので、ぜひ活発な議論の中で対話集会を成功裏に結びつけますようご協力をお願いしたいと思ひます。

終わります。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては五味委員長、よろしくお願ひいたします。

○委員長（五味武彦君） ただいまの出席委員は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会といたします。

なお、金丸寛委員については欠席の連絡がありましたので、報告をさせていただきます。

---

○委員長（五味武彦君） それでは、本日の会議を開きたいと思います。

内容に入りたいと思います。

内容の（１）市民と議会の対話集会についてを議題といたします。

本日は、役割責任者の準備内容の報告・協議となっております。各担当から報告・説明を受け、協議を行いたいというふうに思います。

なお、当日もう既に３人の欠席というふうな形になっております。１ページの表の班分けのところでは小浦議員、体調不良ということです。それから、長谷部議員についてはちょっと個人的な理由、それから金丸寛議員についても体調不良というふうな形で３人の欠席がありますので、先に報告だけさせていただきたいと思います。

それでは、資料の２ページの11の役割責任者及び準備内容の表の順番でいきたいというふうに思います。

初めに、役割のほうの欄で、司会、写真撮影について説明をお願いしたいと思います。

伊藤副委員長からお願いいたします。

○副委員長（伊藤 毅君） 司会、写真撮影のほうの説明をいたします。

まず、司会原稿のほうは今７割、８割方できているんですけども、最終調整をしているところです。

次第のほうなんですけれども、皆様にお配りしてありますような形で開会、議長挨拶、議員の自己紹介、内容の１部、２部、閉会というような流れの次第になっております。次第の裏のほうに、議員名簿のほうも載せてあります。

次に、タイムスケジュールなんですけれども、これもお配りしてあるような形で、18時30分受け付け開始で30分間受け付け。19時から始まりまして、開会、本日の進め方から始まり19時2分から19時5分、3分間議長挨拶、19時5分から19時10分、議員の自己紹介、19時10分から19時25分を第１部、議会報告、19時25分から19時35分をその第１部の質疑応答、19時35分から19時45分を第２部で、今度は市民の皆様と議員でグループの自己紹介、19時45分から20時35分が50分間意見交換をやりまして、20時35分から20時55分に第２部の意見発表をして、最後、閉会の挨拶５分、副議長の挨拶で終わるような流れになっております。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 内容それからタイムスケジュールまで、副委員長のほうでやっていただきました。補助については事務局員の長田書記がやっております。

これまでの説明の中でタイムスケジュール等々まで入っておりますが、無理のない程度の時間割り振りになっているのかなというふうに思います。

順を追って改めて、受け付けが18時半から19時までという形、その後、議長挨拶とか自己紹介等々、それから議会報告に入って、参加者の自己紹介ともどもやっていただいて、意見発表、最後の閉会挨拶までというふうな時間割り振りをしております。若干多目にとつてありますので、早く進めば早く終わるといふような形になっておりますが、これについて皆さん方、ご意見ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 議員の自己紹介とそれから参加者の自己紹介があるんですけども、これのやり方としては議員も含めて自分の居住区、参加者も自分の居住区と氏名というふうな形の中で統一をすることを司会者のほうで言ってもらえればわかりやすいかなというふうに思いますので、その辺のところを司会者のほうで。

○委員長（五味武彦君） 後でスライドで説明もありますので、これは後ほどその件については説明をさせていただきたいというふうに思います。

○委員（内藤久歳君） 了解です。

○委員長（五味武彦君） ほかにないようでしたらば、司会、写真撮影班の責任者というふうな形で作業が進んでおります。よろしければ次のほうにいきたいと思います。

次の議会報告会というふうな形になりますが、ここからスライドでやっていただけますか。今回は時間が短くしてあるということで、今までの過去の40分であるとか20分であるとかいうことからさらに縮めておりますので、画面を見ながら説明をしていきたいというふうに思います。

司会からお願いします。

○副委員長（伊藤 毅君） こちらのほうで説明をしたいと思います。

まず、こちらの画面なんですけれども、6時半受け付け開始から7時までの画面をこういった形で写しておきます。19時から始まって、こちらの「市民と議会の対話集会」をスタートするような形になります。

本日の進め方、先ほども言いましたが、開会、議長挨拶から始まって内容1部、2部、閉

会の挨拶、このような流れの説明をいたします。

最初に、議長挨拶、「清水議長、よろしく申し上げます」という形で進めていき、この議員の自己紹介なんですけれども、一応、議席番号、名前、自治会、常任委員と毎年そのような形で言っているのです、それで行こうかなとは思っています。議席番号、名前、自治会名、常任委員というのを司会の中でそれで言ってくださいと案内します。順番は議長、副議長、議席番号順という順番でお願いしたいと思います。

○委員長（五味武彦君） 1番から行くということだね、けつからじゃなくてね。

○副委員長（伊藤 毅君） そうです。議長、副議長、議席番号1番から。

こちらから今度それが終わりますと第1部に入り、議会報告会に入ります。こちらから五味委員長にバトンタッチして説明に入ります。

○委員長（五味武彦君） その前にそれぞれの議員のほうの場所です。ステージの前に並ぶというふうな格好になります。そこで自己紹介もするというふうな形になります。

ここでいよいよ議会の報告というふうな形に入りたいと思います。台本はまだできておりません。画面に従って説明、肉づけをしようかなということで、甲斐市議会の紹介ということで、委員会はそれぞれ日ごろ議論、検討する場所でありますよということで、委員会については各常任委員会が総務教育、厚生環境、建設経済と各常任委員会がございますよという形、3常任委員会制をとっておりますと。それから、そのほかに議会広報の常任委員会もありますと。そのほか議会運営委員会であるとか、改革の特別委員会であり、バイオマスの産業都市構想特別委員会、それから山梨県緑化センター跡地活用特別委員会というものがございますというふうな形になります。

それから、22人の会派というふうな形で、これは同じ志を持ったグループで構成していますよということで、会派については多い順に創政甲斐クラブが5名、新政会が4名、進和会が3名、それから公明党3名、甲斐市民クラブ3名、颯新クラブ2名、共産党甲斐市議団が2名というふうな形の説明をさせていただきます。全部で7会派ございますと。

それから、前から話題になっております政務活動費はどうかということで、政務活動費は議員が調査研究のため必要とする経費を、地方自治法の規定に基づいて市の条例によって会派に交付されるものでございます、というふうなものです。交付金額については議員1人当たり月額1万円を会派の人数に応じた金額が交付されて、精算時に残額が生じた場合は返納することとなっておりますと、これは政務活動費と。なお、使途の透明性を確保するためには報告書へ領収書等の添付が義務づけられていますし、議会広報のほうでも報告をさせ

ていただきますという説明をさせていただきます。

それから、次の議会とはどんなものかというふうなことをここで入りたいと思います。市長と議員の違いはどうかというところに入りますと、総理大臣は国会議員の中から選ばれますが、市長は市議会議員の中から選ばれてはおりませんということです。これは前を踏襲しております。市長と議員も選挙権のある市民による直接選挙になりますという形です。

市長と議員では役割がそれぞれで別々で異なりますよということになりますよと。市長は独任制で事業や予算などを提案をすると、議会、議員は合議制で市長によって出された議案を議決をいたします。意思決定の方向が異なることで、より民主的な運営ができるようになりますよ。これが二元代表制という内容です。

市長、執行側と議会、議員は車の両輪に例えられますが、適度な緊張感を持つことが大事でございますよと。市民にとって有益な事業は賛成して行い、先走ったと思われる事業はブレーキをかけて時にはとめさせることもあります。それを行うのが委員会や本会議になります。議会の役割は以上でございますよと。

さて、市民と市長と議会の関係ということになります。それぞれの市民、議会、市長がございます。まず、市民はこれは議会に対して投票するということだな、そうだね、議会ですよ。まずは、市民は議員を投票をさせていただきますよ。ここら辺ちょっとまだ台本できておりません。市長は市民のために仕事をいたしますよ。次に、議員は市民の声を聞きます。それから、議会と市長の関係については予算、条例を市長は提案いたします。それによって議会のほうは予算などを審議、議決いたします。これが市長と議会との役割ということですよ。

議会、議員は市民との対話の中で出された意見等を参考にして、政策案として一般質問などをして執行側に働きをかけますよ。市長、執行側はその政策案を審議して、市民にとって有益なもの判断できれば予算をつけ、議会の議決を得て事業化をいたします。市民は事業化された施策によって行政サービスなどを享受することができます。これこそが市民との協働になります。本日はそのための対話集会ですとここまでが議会の報告というふうな形で、非常に大分はしょってやっております。

ここまででちょっとお手元に今の画面がそれぞれのページに出ておりますので、もしご意見があればこの場合にそれぞれお伺いしたいというふうに思います。

1ページとか2ページこの辺はもう既にやっておりますので、6ページもいいか、7ページから甲斐市議会の紹介のところに行きたいと思います。委員会構成、日ごろ議論、検討する場ということで3常任委員会制をとっておりますということで、各常任委員会が3つ、さ

らに広報の常任委員会、議会運営それぞれの委員会がございますという紹介になっております。この辺からちょっとご意見あればお伺いしたいと思います。7ページ。構成ですから、特に問題なかろうかなと思います。

内藤委員どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 日ごろ議論、討論する場というこの囲みの中が色がちょっとぼやけているから、ちょっと何か色を変えたほうがいい。

○委員長（五味武彦君） もうちょっとわかりやすいような色に。

○委員（内藤久歳君） ちょっと変えたほうがいいかなと思うけれども。

○委員長（五味武彦君） 現場でもこのぐらいの色合いしか出ないよね。じゃ、もうちょっと濃く。

○委員（内藤久歳君） 何か他の色で。

○委員長（五味武彦君） それぞれ吹き出しのところをわかりやすいように。

○委員（内藤久歳君） 色を変える分にはそんなに手間はかからない。

○委員長（五味武彦君） ちょっとわかりやすいような色に、遠くからも見えるように。

○委員（内藤久歳君） 色を変えるか、中の字を変えるかどちらかでもうちょっとはっきり出たほうがいいんじゃないかと思う。そこら辺また、バックの色を濃くするか。

○委員長（五味武彦君） いずれ参加者にはこの報告の内容はコピーで配りますから、遠くの人にはわかるようにしますけれども、いずれにしろプロジェクターで見ると薄いなという気はしますので、これ改良させていただきます。

このページはどうでしょうか。

[「いいです」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） では、その次のページで議会の役割というところに入りたいと思います。

今度は会派だね。これもやっぱり吹き出しの色を変える。会派は変わらないので、この辺の紹介だけさせていただくということで。

8ページは特になければ、次の今度は9ページ、政務活動費、特に扱っております。この辺については前回のものを毎年やっているものを踏襲しているということなので、特に文言についてあれば。

○委員（内藤久歳君） ここのところで、精算時残額が生じた場合返納することになっている、不足が生じた場合は自己負担でやるというようなことも触れておいたほうがいいじゃないか。

返すんだから、一般的に1万円でぴったり行くのかということよりかも、それ以上のものを使って政務調査しているよということも、やっぱり実質そういう現実問題で自費を出して政務活動している場合もあるので、ここのところはその分をちょっと加えたほうが返すのと自費で出すというその部分をちゃんと明確にしておいたほうがいいのかなんて俺もちょっと今思ったんですけども。

○委員長（五味武彦君） 文章的には入るかな、ちょっと文字小さくすればあと1行ぐらい追加できるね。じゃその辺については内藤委員の言うようにオーバーした場合は自費負担、自己負担ということを入れます。

○委員（内藤久歳君） こう言うことを入れないと1万円だけで終わっちゃって、その後のこれがよくわからないと思うんだよね、みんな。何か工夫して簡単にこうだよというのがわかる内容でちょっとつけ加えたほうが。

○委員長（五味武彦君） では、2段目の一番最後の行に今の米印か何かで入れるということではほかにもやっているんだと、規定のやつばかりじゃないよということ。

ほかどうですか。

○議長（清水正二君） 領収書の原本の提出を義務づける。

○委員長（五味武彦君） 領収書の後に括弧原本とするか。そこは入るね。領収書括弧原本括弧閉じ等というふうな形でその辺もちょっと追加するということで。

ほかありますか。

領収書のできないものも実際は出てくるけれども、そうはいつでも原本ということが一番いいかなと思います。

なければ、9ページよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 次に、今度は議会の役割というところに入ります。

市長と議員の違いはということで直接選挙の内容が入っております。これは特に問題ないのかなと。これは特にはしょってはいないんだね。

〔「色だけです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 色を変えただけ。

じゃ、11ページのほうに入って、役割が別々で異なりますよということで説明になっております。独任制で提案する、それから議会のほうは議決しますよ、それぞれ意思決定の方法が異なることで運営ができます。二元代表制ということですよ。

このページはどうか。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、12ページに入りたいと思います。

これは議会の役割ということで、車の両輪に例えられますけれども、適度な、ここの適度な緊張感、それから有益な事業は賛成する、しかしブレーキをかけるものもありますよと、時にはとめることもできますと、それを行うのが委員会であり本会議というふうな形です。

このページはどうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、13ページ、次のほうへいきます。

これは毎回やっているものをちょっとイラストを入れたりとかいうことで手直しをしてあります。これ全て伊藤副委員長が手づくりでやっていただいたものですから、つけ加え削除はやっておりますので。

これは図は今までのとおりですけれども、カットが入っているということで、それぞれの関係を示しているということで、この辺が市民にどういう図式だということがわかりやすい図になっているかなというふうに思います。

どうぞ。

○議長（清水正二君） 先ほど委員長の説明の中で、議員を直接選ぶという説明があったんですけども、議員を選ぶということでどうせなら今現在22人だけれども、次のときには19人になるということも触れておいたほうがせつかくですからいいかなと思うんですけども、どうでしょうか。

○委員長（五味武彦君） その辺も実はどこで入れようかなというふうに思いますので、ここの中で説明しちゃうのがいいかなと、もしやるのであれば、今22人、投票によって議員を選ぶんだという中で今現状は22人だけれども、次回選挙については19人になりますということを入れたいということですよ。

どうですか、そこで触れるのであれば。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 去年6月に議員条例を改正というふうな形でやっていますので、この辺はさらっと進めたいと思います。

そのほかご意見ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、13ページの次の14ページ、これは市民との協働という形でそれぞれ順送りで3つの項目が出てきております。この辺はどうでしょうか、一般質問などをして、一般質問、代表質問と言わなくてもいいかな。ここは一般質問だけでいいですか、などをしてということで。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、次の段階です。議会の議決を得て事業化をいたしますよと、市民は事業化されたものにサービスを受けることができますというふうな形の段階です。ここが市民との協働であるということです。これが14ページ、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、ここで終了というふうな形になります。ここまでが私、初めにしゃべってどのくらいたちましたか。

〔「説明時間は5分です」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 5分ぐらい、わかった。

これまだ画面を見ながらアドリブで今やっていたので、実際は、もうちょっといろんなものをつけ加えなきゃいけないという部分がありますので、今5分であればもうちょっと膨らませなきゃいけないのかなというふうに思います。

ここで私のほうから、例えば歳費のことについて触れるかどうか。先ほど人数が22から19になりますよという中で定数はわかっているんですけども、じゃ歳費のときにどうするかということをししゃべるかどうか。

〔「歳費とは」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 議員報酬です。

〔「質問があれば」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） では、この説明の中では入れないということにさせていただきたいと思います。

なければ、今までのことの中で本日はそのための対話集会ですということで、いよいよ市議会の役割についていろんな今までの5分から何分かの報告があったこれを踏まえて、議会の役割についてご質問くださいということで質問コーナーをつくっておきます。出たものについては議長中心にお答えになるか、それぞれに振るかわかりませんが、その辺はよろしくお願ひしたいと思います。

〔「それは司会者」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 私のほうで答えられるものは答えますけれども。

○議長（清水正二君） 答えるのは皆さんに答えてもらったほうがいい。司会が全部答えちゃうというのはどうかと思う。

○委員長（五味武彦君） では、それぞれ私のほうでどうぞと。その場合は俺が司会するのかな。

○委員（内藤久歳君） 説明をして、あと今度は質疑やるのは司会者。

○委員（伊藤 毅君） ここまで終わって、本日はそのための対話集会です、までが説明者。質疑は、司会の私が進行します。

○委員長（五味武彦君） では、そのようにいたします。

ここまで議会報告会というふうな形になります。今、提案されたものは吸収してスライドもう少し改良したりとか、つけ加えたりいうふうなことをさせていただきたいと思います。

それでは、次の私と副委員長でやっている意見交換会というふうな内容に入りたいと思います。

進行内容の資料作成、それから必要品リストの作成というものになっておりますが、まず、伊藤副委員長、どうぞ。

○副委員長（伊藤 毅君） 引き続き、第2部のほうの説明をさせていただきます。

まず、第2部、意見交換会、これからの甲斐市に望むことをスタートします。

初めに説明をさせていただきます。「意見交換会は、各テーブルごと議員3名が参加して一緒に行います。多くの方が発言できますよう1人2分以内でお願いいたします。各テーブルごとお住まいの自治会名、お名前などを自己紹介をまず最初をお願いいたします。自己紹介は進行役の議員から右回りをお願いいたします。それではスタートしてください。」という形で各班に振る形です。「おおむね8時半までです。ここでアンケートにもご協力してください。」というアナウンス等をして、ここからは各班にひとまずお任せする形になります。

時間が来たところで、「これから意見発表を行います。これからの甲斐市に望むこと、各グループごと3分以内でお願いします。」ということで、各グループの担当議員のほうから意見発表をしていただきます。

6班が終わった後の質疑応答はなしで、閉会のほうの流れに行くというような形になっていきます。

最後は、「ご来場ありがとうございました。」というここでパワーポイントは終わりになります。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 資料で言うと16ページからの今の説明になっております。

この辺のくだりについてはどうでしょうか。

金丸委員、どうぞ。

○委員（金丸幸司君） 今この画面なんですけれども、この4つ、子育て、福祉、まちづくり、教育とあるんですけども、これがお題だけでも、そのほかでもいいということですか。

○委員長（五味武彦君） もしあれなら、ここへその他と入れておくか。

○委員（金丸幸司君） これ見た人は、これじゃなくちゃいけないのかなと思ってしまう方も中にはいるのかなと思うんです。

○委員長（五味武彦君） 副委員長。

○副委員長（伊藤 毅君） 一応司会のアナウンスの中で、それぞれの思いがあると思います。子育てや福祉やいろいろな立場の中でいろいろあると思うので、ご自由に意見を言ってくださいということをおうかなとは思っています。

○委員長（五味武彦君） 説明の中でね。ではここへその他を入れておいたら。

○副委員長（伊藤 毅君） わかりました、その他を入れておきます。

○委員長（五味武彦君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） さっきの自己紹介の件だけでも、1回我々は議員全体でやるじゃんね。それでまたグループごとに同じことを言う必要があるのかどうなのかと思うんですけども、そこで議員はそのテーブルの参加者だけやればよくて、そこへ行ってまた改めて自己紹介をするということも必要があるのかどうなのかと思うんですけども、それはどうですか。やったほうがいいのかといえば、別にそんなに時間かかるものじゃないし。

○委員長（五味武彦君） 自分の名前だけぐらいはしたほうがいいんじゃないか。

○委員（内藤久歳君） その場で覚えきれないから名前だけでいいんじゃないのかな。

○委員長（五味武彦君） では、グループのほうについては議員は名前だけ言って、それからあとはぐるっと今度は参加者の名前、それから自治会名というふうな形で。

アンケートのところでも男女のことは言いますけれども、一応そんな形でいいですか。

○委員（内藤久歳君） 一応こういうネームプレートはつけるということ、事務局。

○委員長（五味武彦君） 事務局どうぞ。

○書記（輿石文明君） 委員長、副委員長が係になっていますので、そちらのほうで指示があるろうかと思っておりますけれども、今考えているのは市民の方にラベルシールに手書きで書いても

らって、胸に張りつけるタイプの名札なので、議員さんも同じような形をとりたいと思います。

先ほどの自己紹介の件ですけれども、名前と自治会ぐらい言っていただけると、市民の方もそれに倣って名前と自治会を言ってくれるんじゃないかななんて思うんですけれども。

○委員長（五味武彦君） 見本をね。

○書記（輿石文明君） はい。

その辺とあと、開会式というか最初の自己紹介のときに、きょうは何班ですということをもし言うのであれば余り詳しいことはいいかななんていうふうにも思いますけれども、誰が自分のテーブルに来るかわかっていないので、もし最初の自己紹介のときに1班につきますということをしていただくとあの人1班に来るんだということが、参加者にわかるかと思えます。

○委員長（五味武彦君） では、冒頭の議員の自己紹介のときに割り当てのグループの番号を言っていただく、ABCになるのか123になるのかわかりませんが、そうすればこの人たちが来るんだということがわかるかなと思います。

○委員（秋山照雄君） それは早目に言ったほうがいい。名前言う前に何班担当の誰々ですと。

○委員長（五味武彦君） 一番最初にね。

○委員（秋山照雄君） そうしたら、その班に座っている人はあの人だとわかる。最後に何班ですと言っても、聞き逃したらわからんでしょうから。

○委員長（五味武彦君） 先に班名から言って、名前、自治会名とそれから所属委員会というふうな形にしましょうか。

副委員長、いいですか、その辺ちょっとつけ加えてください。

○副委員長（伊藤 毅君） はい。

○委員長（五味武彦君） 意見交換会でほか名札、記録用紙とかいうふうなものも用意させていただく。まだここでは名札のひな形もできておりませんが、そのものは用意いたしますというふうな形になります。

ここままでよろしいですか、意見交換会については。

どうぞ。

○委員（金丸幸司君） 20ページまでやりましたよね、さっき。そうすると20ページ、最後終わって、意見発表するところなんですけれども、これは3分以内にまとめて出すんですが、その中で集約したやつを1点だけ上げて報告するのか、それとも全員から出た意見というの

も全部その内容を言うのかです。それどういうふうになっているか。

○委員長（五味武彦君） 個人的な意見であれなんですが、3分ということになるとそんなに全ては言い切れない。ただ、特定なものだけ深く入れるわけにもいかないこの辺はそれぞれその発表者の判断というか、できればたくさんの方の意見をしゃべっていただきたいんですけども、時間の制限があるので、その辺まもうそれぞれの感覚の中でやっていただくよりほかはないと思うんです。これは3分以内ということではありますけれども、多少延びても構わないし、短くてもいいんじゃないかなというふうなことはあり得ると思います。

でも、例えば30秒ずつやっても6人、20秒ずつだともっとふえるというふうな格好なので、より多くの意見が出されるのがベストなんでしょうけれども、時間的な制限があるので、その辺が目安なのかなというふうに思いますけれども。

その場合は、その意見発表のときにはどなたから出されたものとは言わないで、こういう意見がありましたよというふうな形でよろしいかなというふうに思います。これは出した自分の意見が発表されたんだなということはわかりますので、特定することもちょっとこれは無理なケースも出てきておりますので、名前はちょっと公表を差し控えてというふうな形になろうかと思えます。

そのほかありますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） なければ、次の会場設営、片づけのほうになります。

これはどなたか、内藤委員でしょうか、藤原委員でしょうか。

○委員（内藤久歳君） お手元に席次表が行っていると思うですけども、一応自己紹介が終了したら各班に移動をお願いをするということで、正副議長、司会者、1班から一応5班ということで準備を進めるということです。

あと、各班がテーブルが4つあって、それに椅子が13ということでそのレイアウトどおり参加者は10人です、議員が3人ということで総勢13名ということになります。そこに書いてありますように、黒丸のところに議員が座っていただくと。

あとは、白丸は市民の方、黒丸は議員になります。それで、4班のところのみ記載となりますが、進行は進行役議員、記録は記録役議員ということで、「進」と「記」とありますけれども、そんな位置づけでお願いします。

1点、当日の参加状況によって先ほどもちょっと委員長とも検討したですけども、人数がこの設定どおりにいくかどうかわかりませんが、もしたくさんふえた場合に一人、

二人だったら余裕があるかもしれませんが、それを超えるような人が来た場合には、一応あと1班ぐらい追加できるような想定をして段取りをしておくというふうな方向で今、委員長にもお願いをしましたので、多少当日の参加状況によってそういった変更もあり得るということも考えておいていただければいいかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 説明がありました。

今のところ図面では6班になっておりますが、これは後ほど組みかえをしなきゃならんということありますけれども、とりあえず5班にしておいて、人数によりきり6班目を急遽設営するというふうな形になろうかと思えます。その場合は6班目については浮いているといったら申しわけないですけれども、議長、副議長、それから私の3名がそこに入ると、これは人がふえた場合という形になります。これはあくまで人数に応じての設営という格好になります。

伊藤副委員長については、写真撮影とかいろいろ飛び回らなきゃいけない、司会もやらなきゃいけないということなので、ここにはめるわけにはいかないの、浮いている3人がその担当になるというふうな形になろうかと思えます。

とりあえず、内藤委員、どうだったか、4班を外しておくんだっただけかな。

○委員（内藤久歳君） 入口のところをスペースつくっておいたほうがいいかなということで、出ていったときに最後にそこへやればいいかなと思うので。

○委員長（五味武彦君） じゃ、4班は初めからつくらずにおいて、人が多くなった場合はつくるといふような態勢にいきたいというふうに思っています。

そのほか、準備品とかいろいろございますが、この辺についてはよろしいですか。この辺の説明いいですか。

○委員（内藤久歳君） 準備品等についてはまた事務局と協議をしながら進めていきたいと思えます。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 今、準備品の中でいろんな用意しなきゃならんというものありますので、これまた担当と事務局のほうで相談していただいて、漏れのないようお願いしたいというふうな形になろうかと思えます。

これが藤原委員、内藤委員についての会場設営、片づけという形です。ただ、会場設営については2人に任せるのではなくて、みんなで設営しましょう、みんなで介助しましょうよと

いうふうな形になろうかと思います。

これについての何かご意見ございますか。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） まず、班分けで欠席が3人ほどというお話がありましたね。この辺はこの表の中でどうなるのでしょうか。

○委員長（五味武彦君） 先にその話が出ましたので、1ページの班分けのところをちょっとごらんいただけますか。

まず、2班の小浦議員、それから6班の長谷部議員、それから金丸寛議員と明らかに欠席というふうな形、これは横山幹事長からつい最近、どうなんだと言ったらば多分無理でしょうというふうな形なので、もう既に欠席という扱いをさせていただいて、今、6班体制を5班体制にするというふうな案を持っております。

それで、小浦議員が欠席の場合はどうするかというふうな形になりますが、その場合は私の私案です、斉藤議員がトップに進行役に入っていたきたいと。それから、横山議員が進行補助役に入っていたきたい、一番下の加藤議員が記録役に入っていたきたいと。あくまでも表での便宜上です。議席番号とか何とか余り考えなくて、この表で小浦議員の役に斉藤議員が入る、斉藤議員の後に横山議員が入る、それから横山議員の後に加藤議員が入るということで、6班を全て消すというふうな形。これは便宜上でございます。

よろしいですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（五味武彦君） 議席番号順で行くとぐちゃぐちゃしちゃうので、表を参考にしながらやりますけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） ちょっと確認なんですが、一応5班で基準を想定して、もし大勢来れば6班にするということでしたね。さらに来た場合は。

○委員長（五味武彦君） これは私のほうから、今のところそれぞれ10名程度の席になっておりますけれども、12まではオーケーです。その場合はどうするかとなると、この表を見ていただくと、ステージから見るとやっぱり議員は後ろのほうに当然座ります。その前の1班とか2班とか分かれているところに2人ぐらいいれると思います。最大3名ぐらいいれるかな、その場合ちょっと席を詰めなきゃいけないんですけれども、よろしいですか。

これは60人を超えた場合というふうな形になるかと思いますが。ステージ側のほうに新しく椅子を持ってきて追加するというふうな形だと思います。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、次のグループのほうへいきたいと思います。

受付、意見交換会、グループ分けというふうな形で、有泉委員、松井委員、それから金丸寛委員というふうな形になりますが、この辺はどなたか。

有泉委員からお願いします。

○委員（有泉庸一郎君） 今お手元にこの受付簿というのが行っていますよね。これも今までもこういうふうな方法でこの用紙とその裏側に準備するもの等も書いてありますけれども、一応これは今までやってきたものを踏襲していますので、これで行きたいと思っています。

それと、裏面見ていただきますと、受け付けをして受付簿に記入してもらったら資料を配付して、受け付け順に1班、2班、3班と案内していくと。大勢一遍に来るとなかなか2人では、僕と松井委員だけですから、ちょっとあいている人にお手伝いしてもらおうような場面もここに書いてありますけれども、受け付けして案内してもらおうのをほかの人にやってもらうような場合もあると思いますが、適宜やっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。臨機応変にやっていけば、そんな難しい話じゃないですから、そういうことでよろしくお願いします。

○委員長（五味武彦君） 各担当、責任者という格好でやっておりますが、この方だけではなくてみんなでそれぞれの分担、手伝いをしましょうよというふうな形で協力をお願いしたいということです。

実は、事前に金丸委員から出されたこのアンケートで、男性女性の記入の必要性があるかどうかという提案がされました。

〔「受付簿にあるじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ここの欄を消すか、初めから。

この会に男、女の必要性、受け付けの必要性があるかどうか、その辺で金丸委員から。

○委員（金丸幸司君） 実は後ほどアンケートのほうでもこの内容言おうと思っていたんですけども、近年、性の多様性ということで性別の記載を削除する傾向性がアンケートでは特に広がっているというのがあって、ちょっと私も事務方のほうに聞いたら、まだこんな男女性別のそんなアンケートやっているのなんていうことが以前にあったなんていうことがあっ

たので、そうはいいまして私一人で決めるわけにはいきませんので、委員会の中で委員長に諮っていただきたいということを申し出ましたので、よろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 2つ、その男女という部分が出てきております。受付簿に対して性別が入っている、それからアンケートの中に入っているということで、先にアンケートのほうも一緒に含めてちょっと議論していただければと思います。

受付簿のほうについてはどうでしょうか。

議長からどうぞ。

○議長（清水正二君） 受付簿のほうで男性女性とあるので、アンケートのほうは要らないかなど。そうすればこれが女性か男性かわかると思うんだよね。

私の私的な考えであれば、確かに今の時代そうかもしれないですけども、やはり議会としても女性の関心度、男性の関心度というのを知りたいなとは思っていますよね。いろいろな面で女性登用とかそういった部分も出てきますので、関心度を知りたい部分もあるという気持ちもあるんですけども。

○委員長（五味武彦君） そうすると、受付簿についてはこのまま行きたい、アンケートについては性別の欄をとるというふうな形。

秋山委員、どうぞ。

○委員（秋山照雄君） それは逆だと思う。アンケートというのを男か女かはっきりさせておいて、受け付けは男も女も要らんとする。アンケートの答え自体は男性が思っているということか、女性が思っていることかとかいろいろなあれがあると思うから、アンケートは男と女を書いたほうがいいじゃないかと思います。

○委員長（五味武彦君） 両方意見が出ました。秋山委員のほうは受け付けのほうはなしにして、アンケートのほうは入れる、議長のほうは逆だと。

ほかご意見ございますか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） これ一体性のもだから来る人の対象者は同じじゃないですか。そうすると、片側をそういう男性女性あって、やるんだったら両方やる、やらないんだったら両方削除するということのほうが俺はすっきりしていていいかなと思う。

○委員長（五味武彦君） 3つ目の意見が出ました。

○委員（内藤久歳君） 裏へこれを書くということは、相対的な考え方としても自分の性別を表現するという事だからそのことに関しては両方書いてもいいし、やる側でそういうこと

を考えるんだったらもう削除するというにしようがいかなく。その点についてはそういう今はジェンダーフリーとそういう時期かもしれませんが、私は男、女ぐらいはいいんじゃないかなと思います。

○委員長（五味武彦君） 3つ意見が出ました。片方ずつ外すか、どちらも書くか。

特にアンケートについては個人名が入りませんから男女入れてもいいかなと私的にはそう思うし、受け付けもやっぱりこっちを入れてこっちを外すというのもちょっとおかしな話の部分も出てくるので、どうでしょうか。まず全部を入れないという意見があります、提案。それから、全部を入れる、片方ずつというふうな形になります。これはもうそれぞれ挙手を願うよりほかないかな。

多数決で行きたいなというふうと思いますが、両方とも入れるという方。

〔賛成者挙手〕

○委員長（五味武彦君） それで決定です。

ちょっとアンケートのほうまで行っちゃいましたけれども、男女については原案のとおり入れるというふうな形、受付簿それからアンケートのほうも入れるというふうな形に行きたいというふうに思います。

受け付け、意見交換会のグループ分けについてはもうこれでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、アンケートのほうへ今出ましたけれども、説明をお願いします。

○委員（金丸幸司君） お配りした市民と議会の対話集会のアンケート用紙をごらんいただきたいと思います。

裏です。まず、当日の取り組みについて説明します。

アンケートの配付、回収方法については、アンケートの配付は当日受付で封筒、次第、資料、アンケート用紙、クリップ鉛筆と一緒に配ります。回収方法については、終了時にアンケート回収箱4個で受付場所で回収を行います。このときに大勢の方が一遍に帰りますので、2名だと大変なので、受付係の2名の方々にご協力をお願いしたいと思います。

表のほう、アンケート用紙を見ていただきたいんですけども、設問は以下このようになっております。前回の市民と議会の対話集会を参考につくりましたけれども、この設問等がいいのか、委員会の中で諮っていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（五味武彦君） それでは、まず内容のほうに入りたいと思います。アンケートの設問というふうな形、1、2、3はそれぞれすぐ記入していただけたと思いますが、設問の4から、何で知ったか、次が内容はどうだったか、求めることは何ですか、今後来ますか、今後特にこういったものの中で取り上げたいテーマはありますかというふうな形、これは複数回答アンケートです。このほか言いたいことがあれば自由に書いてくださいというふうな形のアンケートの項目になっております。

どうでしょうか、ご意見ありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、説明の裏のほうで、アンケートの回収は終了時にアンケート回収箱4個で受付場所で回収するというので、受付係の2名に協力願いたいということですが、金丸委員と秋山委員が2人、それからこの場合は受付係だから有泉委員、松井委員にお願いするというので、足りなかったらほかの人がフォローするという形で一応予定の中に入れておいてもらって、お願いします。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） アンケートについてはよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、そのようにさせていただきます。

次に、開会挨拶とこれは個人的なものですからご自分でつくってください。

それから、閉会挨拶についても金丸副議長にお願いするというので、お願いしたいと思います。

以上で内容のほうは終わりました。

以上で協議は終わりますが、今までの中でよろしいですか。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 聞き落としたら申しわけないですが、グループの意見発表は、これは誰が責任者になるんですか。

○委員長（五味武彦君） これは意見発表につきましては記録役になります。

先ほども3分以内ということなので、どの程度扱うかはそれぞれお願いするよりほかかなというふうに思います。

よろしければ私のほうから、第1班の保坂、有泉、滝川とそれぞれの役はよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、ここがちょっと変わります。傍聴席におられますけれども、斉藤、横山、加藤とこれは改めてお願いするというような形をとりたいと思います。したがって、発表者は加藤議員が入ると。

それから、3班については藤原、松井、清水和ということで、ここはよろしいですか、役割は。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、4班については内藤、小澤、秋山、これもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、5班が山本、赤澤、谷口という形でそれぞれの役を確定したいというふうに思っております。

最後、もし仮に6班目を急に設営するというのであれば、進行役は誰にするのかな、議長にやってもらうよりほかはないですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 急遽もしつくった場合は清水議長にお願いする、それから進行役は金丸副議長にお願いする、それから記録係は私がするというふうな形を急遽とります、仮に。

〔「進行と補佐」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、もう一回、その6班目をつくるとすれば、進行役は清水議長、進行補助役が金丸副議長、記録役が五味というふうな形をとっておきます。これは括弧書き、表をつくっておいて括弧というふうな格好になろうと思いますが、お願いいたします。

あと、その他のほうに入りますけれども、2ページの12番です。

参加者アンケートを実施すると、それから議員の集合は午後5時という形で、開場が6時半からということですから1時間半の中で支度をするというふうな格好になると思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 本日のとりあえずの主な議題は終わりました。

以上で協議を終了させていただきたいと思ひます。

その他どうぞ。

○委員（藤原正夫君） これを毎年議員に何名かということで、過去をさかのぼっても1人が

22だと何名だということであれしてはあるんですけども、その辺のところで大枠把握、大体そういうふうみんな1人こんなふうをお願いをするのをやっぱり徹底というか、私本人、自分のこと言っちゃいけないけれども、前も5人も自分の自治会7人とか10人とか呼んでいるんだけど、中にはそれぞれだけれども、1人も来ていない、これどうこうない、議員さんが自分のあれで何ていうか、しょうがない都合悪い方という人もあっていいんだけど、そのほかに今言うように10人、60人と言っている中に多いかふえるかわからんけれども、そのこのところを大体大枠今22人のうちに2人で40、50行っちゃうだけだけれども、これは強制的じゃないけれども、ある程度やっぱり今度、全協があるときにお願いしますということをお願ひをひとつ委員長からでも私は言ったい。

これはいろいろなしがらみがあったり何かするので、俺は全然ないと言っても構わんだけれども、そうはいつでもこれ以上こういうふう1人20枚ずつ割り当てがあつてやっている以上はそんなふうなことをちょっと全協のときにお願ひしたいと。

前にはそういうことを全部抜きにして、10人でも集まっても少なくともそれだけ関心があった人であつたらいいじゃないかという時期もあつたんだけど、俺だったらそれで議員が2人でも3人でも、これ自治会にも回っているし回覧でも回っているけれども、個々にもお願いしますというようなことはやらなきゃだめじゃないかということになったんだから、一応そのところだけは私の意見として委員長さんに全協のときにでもちょっと言ってもらえればありがたい。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 事前に内藤委員からもどうなんだというふうなことを言われています。これは例えば自分の後援会、有力者にそれぞれ配るじゃないですか。その場合に初めから2名ということをしてされると、何だ俺は呼ばれないのかとかいう部分があるかという可能性も出てきております。そうしますとどんどんふえてくると、ただし強制ではないよということなので、これはもうそれぞれ議員の感覚の中でやっていただくよりほかはないというふうに思いますし、何人ぐらい来るかなとどういうふうな数が把握できるかといったときに、今後の予定の中で2月5日に全協があります。この際にどうなんでしょうと個別にちょっと調査させていただいた上で大体の数が把握できるかなと。もちろん一般参加者は把握できません。しかし、議員側からの要請の方についてはある程度把握ができるかなというふうなことがありますので、そこである程度参加者の人数が大まかわかるかなというふうに思います。

その場合に、例えば藤原委員が5名欲しいよというところも出てくるし、俺はちょっと今

1人しかいないよという凹凸は出てくると思いますが、この辺は調整することはちょっとできない部分があるんですが、なるべく1人頭2人もしくは3人という中で参加者を決めていただければお願いすればいいかなと。

どうぞ。

○委員（藤原正夫君） それで、今回グループ方式でやるから、議員が例えばこの人後援会ならそういう人たちは年中話をしているから、前のときはこういうグループ方式じゃなくて全体のところのいろいろ吸い上げたり、同じといえば同じなんだけれども、こっちのほうがグループ方式で細かくやれるからこれはこれでいいけれども、そうはいつでも全然何ていうか、難しい話で俺のところは何も来られないとそれはそれでいいけれども、足りんから誰々のところ5人ばかなんていうそういう方式で行くというのが今の委員長案、わかりました。

それでわかっていればいい。そうはいつでも全協のときに俺はやっぱり言ってもらわんと、過去に二、三回やったときに、私が10人とか連れてきたのにほかの議員は誰も連れちゃこんじゃないかと言われて、それで配ったのかと冗談半分で言ったら配っちゃいないとそんな人もいるから。そういうことがこれまでこういうことしているから、これはお願いしたい。お願いします。

○委員長（五味武彦君） わかりました。

では、同じ話になろうかと思いますが、5日の全協でその部分でもう既にそれぞれ20枚ずつ配ってあるわけです。通知的にはもう行っていますので、その中でどのくらい予想されるかと。ある人はちょっとえらいなという人がいるかもしれない、それからもうちょっと多いという人もいるかもしれない、これである程度把握ができる、その結果、もうちょっとふやすことができる方はいらっしゃいますかとかいうことでやるよりほかはないかなというふうに思いますけれども。

余り今度は100人とかいうことになる、いわゆる細かいゆっくり話をする時間もちょっとなくなってくるかなというふうに思いますので、理想が当初の予定の各テーブル10名、5テーブルになったので12名になるかもしれませんけれども、この辺を予想してやりたいなというふうに思っていますので、この辺のニュアンスでちょっとはつきりどうかということが動きがあるものなので、できかねますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、その他の中でありますか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） この対話集会に関しては今後のことになると思うんだけど、どんな形で集約をするのかというその辺の委員長の考えと伺いますか、どんな方向でこれを持っていく。

○委員長（五味武彦君） まず、集約というかこういうことをやりましたよということの告知は、4月発行の新しいリニューアル化された議会だよりの中で一番最後のページが議会報告、活動報告の内容になっておりますので、そこで結果は出します。ただ、A4の中で下のほうがたしか広告が入っていますので、スペース的に全1ページまではいかないと思います。写真も入れたり、こういうことやりましたよということは言えますけれども、ある程度ものは集約できるかなというふうに思いますけれども、内容については広報の委員会の中でどういう扱いをするかというのを決めていきたいというふうに思っています。

ただ、今後、改革の委員会の中でどういう意見が出たのかとかいうことはやっぱり把握しなきゃいけない部分があるかと思えます。これは3月が忙しければ4月とか改めてこの改革の委員会の中でこういうことがありましたという報告書めいたものはつくりたくない、次のためにやっぱり資料としてとっておかないといけないのかなと思えますので、この辺は必ずやりたいというふうに思えます。次回の改革委員会のほうの資料づくりのためにも必要だと。

ただ、市民に広報するためには今言った議会だよりの中でやるよりほかはないのかなと思えますが、もしもうちょっとやってほしいというご意見があれば、どうでしょうか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） これはこれから先の話なので、一応そういう方向性だけを確認しておいて、あとは随時終わった後でこの特別委員会の中でどんな集約をしたほうがいいのかということ、広報の部分含めて検討していけばいいかなというふうに思えます。

以上です。

○委員長（五味武彦君） じゃ、そのように予定を組んでおきたいと思えます。

そのほかありますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） なければ、今後の予定になりますが、次回、進んでいない台本づくりだとかもうちょっとしたのがありますが、今回の討議内容を踏まえて確定な部分をつくりたいと思えますので、これが2月3日1時半ということで、最終確認という段階でやりたいというふうに思えます。

それから、5日が先ほど申し上げた全協ということで、対話集会の内容であり、役割分担

の説明等々をさせていただきます。それで、いよいよ2月12日7時開始ということで対話集会がありますよと、集合は5時というふうな形の割り振りになろうかと思えます。

今後の予定はよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、以上で市民と議会の対話集会についてを終わりたいと思います。

その他のほうに先ほど入っちゃいましたけれども、その他の項目でそのほかご意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、議長からありますか、その他で。ないですか。

○議長（清水正二君） ありません。

○委員長（五味武彦君） 事務局ありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、その他也終了させていただきます。

以上をもちまして、おかげさまで1時間10分で済みました。以上をもちまして本日の日程全て終了いたしました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時43分